

研究期間：広島大学

研究課題名	胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
研究期間	2018年10月30日～2019年6月30日
対象者	2014年1月1日～2016年12月31日の間に、広島大学病院産科婦人科で初回治療（子宮内容除去術）が開始された胞状奇胎の患者。
意義・目的	本研究は日本産科婦人科学会専門委員会公募小委員会（班研究）として行われ、本邦の多施設における胞状奇胎症例の掻爬回数と続発症の頻度を後方視的に解析することを目的とします。最終的には、本研究での解析結果を踏まえ、再掻爬の要否と選別につき提言可能となる指針を作成することを目指すものです。
方法	本研究は診療録から観察研究であり対象者に個別に同意を取得して研究を行うことができませんが、研究の情報をホームページに公開して研究を行います。倫理委員会の承認を得て、該当する患者さんを対象者として登録し、情報（妊娠分娩歴、年齢、hCG値、治療年月、治療時の妊娠週数、初回治療施設、手術手技、病理診断、治療後の経過、再掻爬の有無、その情報、続発症の情報など）を診療録から取得します。データ入力ファイルに調査事項を記入し、日本産科婦人科学会HP上で誤送信のないようファイル添付の送信フォームを使用し、ファイルをアップロードします。送信フォームへはパスワード入力でのログインが必要で、データの送信はSSL暗号化通信で行われ、添付ファイルの一時保管は外部攻撃に備えた高いセキュリティのサーバー上で行われます。以上により得られたデータを用い、解析を行います。データは研究事務局と日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」で共有します。
共同研究機関	日本産科婦人科学会腫瘍登録施設（438施設） 福岡大学医学部 産婦人科（研究責任者 教授 宮本新吾）が統括責任者です。
試料・情報の管理責任者	当院 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹 提供先 福岡大学医学部 産婦人科 教授 宮本 新吾
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5262 広島大学病院 産科婦人科 平田 英司、古宇 家正